

あこやかちゃん



わが ぼ
若桜ちゃん(平成15年4月4日生)

両親=山口定雄・真里さん(〇)

「私、いろんなお歌、
上手に歌えるよ。」

はる な
暖菜ちゃん(平成15年9月17日生)

両親=伊藤繁樹・亜矢子さん(井戸野)

「わたし果物大好きだよ！」

ママ、デザートまだかなあ〜!?



まさ ひろ
雅大ちゃん(平成15年9月16日生)

両親=常世田敏彦・明美さん(東足洗)

「まさひろくん、ハイ！」

ぼくは遊ぶの大好き🚗
パズルも得意だよ。」

すこやかちゃんを募集しています

掲載ご希望の方は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070)へ。対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、保健センター、海上保健福祉センター、飯岡保健福祉センター、干潟保健センター、秘書広報課にあります。



紙上展示室 — 旭モノ語り — 第四回

伝木曾義昌画像

歴史上、木曾氏がその名をさんざんと輝かせたのが「朝日(旭)将軍」、木曾義仲の活躍です。その子孫にあたるのが、この地で晩年を過ごした戦国武将・木曾義昌その人です。

その人生は波乱万丈。武田、織田、徳川といったそうそうたる大名と同時代にあつて、戦国時代から江戸期までの乱世を生き抜いてきました。

天正十八年(一五九〇年)、山深い信濃から、潮風の香る東国の地に国替えをされ、下総国阿知戸城(現旭市網戸)一萬石の城主となりました。

動乱に敗れた末の、いわば左遷ともいべき処遇です。反逆と陰謀、栄光と挫折の人生の最後にたどりついたのがこの地だったのです。しかし、その境遇にあつても、まちづくりやかんがい事業などを手がけることで、名君と評判となり、領民に慕われたといえます。残念ながらわずか五年後、五十六歳でその生涯を閉じ、椿の海へ水葬されます。現在、水葬地は干拓され木曾義昌公史跡公園となり、居城跡に建つ東漸寺には木曾義昌と夫人万里姫の供養塔があります。

その東漸寺には義昌と伝えられる肖像画が残されています。しわの刻まれたふつくらとした顔立ちに落ち着いた容貌。狩衣姿で座す、晩年の



姿でしょうか。一方、滋賀県にある義仲終焉の地、義仲寺にも義昌の肖像画が残っています。こちらは甲冑姿で岩に腰を下ろし、いかめしい表情、戦国武将の悪玉の風采で描かれています。どちらも、義昌の一面にちがいありません。史跡公園に建立されている義昌像は、前者「地元の名君」か、後者の「反逆の英雄」なのか、市の中心街にありますので、お買い物物の途中にでも実際にご覧ください。

義昌の跡を継いだのは長男義利ですが、その乱行が原因で家を取り潰され、一族は途絶えてしまいます。しかし、その歴史は、そう皆さんご存じ「旭市」の名前とともにこれからも語り継がれていくことでしょう。くわしくは「旭市史」第三巻をどうぞ。

〔大原幽子記念館 鈴木映里子〕

暮らしのカレンダー

- 3(木) 文化の日
黒虎相撲 (9:40~ 袋太田神社)
- 6(日) いきいき新旭市・市民まつり
(9:00~ 旭スポーツの森公園)
- 13(日) 旭市ふるさとまつり・ひかた2005
(10:00~ 干潟中学校グラウンド)
- 23(水) 勤労感謝の日
海上産業まつり
(9:00~ 海上コミュニティ運動公園)

「パン」って簡単にできるのかなと思いつながら向かった、子どもたちによるパンづくり教室。早速パンづくりはスタート。教わった手順どおり作業は進みましたが、これで大丈夫なのといった状態のものも。ちよつと難しかったのかなと思つていたら、焼き上がりを見てびっくり。全部、見事なパンになっていました。これを見た子どもたちの安心した表情や笑顔がとても印象的でした。この貴重なパンを食べる事のできた人。とても幸せな人だと思えます。

編集後記